

～京都大学ホームカミングデイ～



# 京都大学技術士会 第9回大会・特別講演会

日時：2021年11月6日（土）15:00～17:30

主催：京都大学技術士会

下記地図参照

場所：京都大学時計台記念館 国際交流ホール I・II 定員 100名

オンライン：YouTubeによる配信併用

（会場参加は定員になり次第締め切らせて頂きます。当日マスク着用や検温等、会場での新型コロナウイルス対策にご協力よろしくお願ひします。）

講演：「京都大学創立から続く土木工学の系譜と都市建設～京都市を例として～」

講師 京都大学工学研究科教授 高橋 良和（たかはし よしかず）

特別講演：「人間中心社会に向けた人と機械、ヒトとAIの協調」

講師 京都大学大学院 工学研究科長・副理事 榎木 哲夫（さわらぎ てつお）



1983年  
1986年

京都大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了  
京都大学大学院博士課程指導認定退学  
京都大学工学部助手、京都大学工学博士  
米国スタンフォード大学客員研究員  
京都大学大学院工学研究科助教授  
京都大学大学院工学研究科教授

1991～1992年  
1994年  
2002年

## 特別講演内容：

現在、社会の中に様々なセンサネットワークが組み込まれ、大量のデータをやりとりする世の中が生まれつつあり、新しい製品やサービスのみならず、業務そのものを見直し、働き方に革新をもたらすことが期待されています。とくに全世界に先立って超高齢化社会を迎える我が国では、就労人口の減少に備えて人手作業をロボットや自動化機械で代替していくとともに、高齢者でも安心して働き続けられる新たな仕組み作りが必要になります。一方、ロボットによる自動化を支える頭脳になるのが人工知能(AI)で、この10～20年の間には現在ある仕事の約半分はAIにより自動化されるとまで言われています。講演では、現在のロボットやAIにできることとできないことを明らかにし、新たな技術によって個人や社会が抱え込むことが予想される矛盾を例示しながら、その功罪についてお話しします。またこのコロナ禍にあつて、人と人が引き離され、その間をデジタルでつなぐことを余儀なくされる中で、時空を超えて共感し合い、感じ合うことで得られるニューノーマル時代の信頼と安心について考えます。

参加費：会場参加 2000円（学生 1000円）

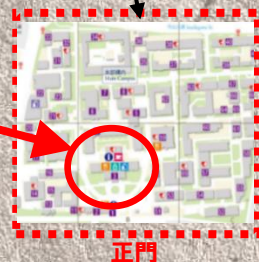
オンライン参加 無料

申込み方法(インターネットでの申込みをお願いします)

## 開催場所：京都大学吉田キャンパス



時計台記念館  
2階



会場参加

<https://ws.formzu.net/dist/S88632049/>

オンライン参加

<https://ws.formzu.net/dist/S3006397/>